

# 自己評価票

## 地域密着型サービス自己評価項目 (評価項目の構成)

- ・理念に基づく運営
  1. 理念の共有
  2. 地域との支えあい
  3. 理念を実践するための制度の理解と活用
  4. 理念を実践するための体制
  5. 人材の育成と支援
  
- ・安心と信頼に向けた関係づくりと支援
  1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
  2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援
  
- ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
  1. 一人ひとりの把握
  2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
  3. 多機能性を活かした柔軟な支援
  4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働
  
- ・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援
  1. その人らしい暮らしの支援
  2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
  
- ・サービスの成果に関する項目

【記入方法】  
複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに、管理者が介護職員と協議の上記入してください。  
次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。  
項目番号23 初期に築く本人との信頼関係  
項目番号24 初期に築く家族との信頼関係  
項目番号25 初期対応の見極めと支援  
項目番号26 馴染みながらのサービス利用  
項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援  
次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。  
項目番号53 身だしなみやおしゃれの支援  
項目番号59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援  
項目番号60 お金の所持や使うことの支援  
項目番号61 日常的な外出支援  
項目番号62 普段行けない場所への外出支援  
項目番号63 電話や手紙の支援  
項目番号64 家族や馴染みの人の訪問

【用語について】  
管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。  
職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名	認知症高齢者グループホーム 森の都
(ユニット名)	
記入者(管理者) 氏名	唯野 千晶
評価完了日	平成21年2月2日

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>入居者様がそれぞれの役割をもって家庭的な環境で日常生活を送ることが出来るように配慮し「利用者本位」「地域密着」を基本に処遇していくこととしております。職員教育には「異體同心」の言葉を掲げ一人ひとりの資格好は別々でも介護に対する心は一つという目標を定め職員教育に努めています。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>職員間で理念を意識付け、折を見てケアに生かしているか振り返るようにしています。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>広報誌を通じ日々の状況を報告。行事、出来事を通じての施設の思いを伝えていきます。</p>	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>立地状況により、国道を渡り、しばらく歩かないと住宅地は無く、日常的な挨拶、付き合いに至っておりません。介護老人保健施設と併設の介護老人保健施設入所者様との交流を図っています。</p>	<p>散歩や買い物等を通じ近隣住民と触れ合う機会を増やし関係を築きたいと思っています。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域に伝わる行事やお祭り、公民館行事等に参加、地域との交流に努めています。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	日々入居者様とのかかわりから学び、来訪する相談者の相談に生かせるよう努めています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義や目的を説明。全員で自己評価に取り組み、日々の業務を振り返っています。		
8	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所からの報告と共に意見、助言をいただき、意見の反映に努めています。		
9	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	推進会議以外に入退所状況等の報告時、市町村担当者に施設の現状等報告。助言をいただいております。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	理解に努め、必要時活用できるよう心がけています。		
11	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止について学び早期発見を心掛けています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居説明、契約時に丁寧に説明し、不安や疑問点を出してもらっています。後日疑問等生じた場合は随時連絡いただき不安や疑問を早期解決していただけるよう支援しています。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者様の日々の生活、話、状況等より本人様の思いを察し、日々のケアに生かせるよう努めています。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>随時状況を面会時や、広報誌、電話連絡等で報告。個人のアルバムを作成し、面会時状況報告しながら見ていただいております。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情や意見を施設のサービスに生かして行きたい旨入居説明時説明しています。意見要望は職員全体で話し合い、その後の反映するよう努めています。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議やミーティング時意見を聞く機会を設けています。また、管理者は管理業務他通常の介護業務に入り、状況の把握に努め、意見・要望を聞くよう努めています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に応じ臨機応変に対応できるようある程度のゆとりのある勤務体制になっている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者様一人ひとりに居室担当職員を置き、馴染みの関係を形成。担当の交換等極力控えています。</p>	
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会にはなるべく多くの職員が参加出来るようにしています。研修参加後は報告書を作成していただき、また、法人職員全体会議で報告。全職員で知識の共有に努めています。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に入っており研修会を通じ質の向上、他事業所との交流に努めています。また開所前より研修させていただいた施設に学ぶことが多く、日々の職員の育成やサービスに繋がっている。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>現場に入り現場の状況、関係等注意して観察、耳を傾けるようにしています。法人内の親睦の機会もあり気分転換を図れる機会もあります。運営者（理事長自身）が施設内の環境整備も行なっています。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>随時質問、状況報告を受け、状況把握している。状況等により助言等し、意欲が持てるよう努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>人生の先輩、先輩から知恵をいただくという思いを忘れず、「お世話をする」ので無く、共に支えあう生活を目標に日々関係作りに努めています。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々状況報告する中で御家族様からも本人様の経過を聞き、本人様への思いを感じ、ご家族様の思いに近づけるよう努めています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	随時状況を面会時や、広報誌、電話連絡等で報告、相談。本人や御家族様の意向を組みながら面会や外出等により一緒に過ごしていただく時間が持てるよう支援、関係が途切れないよう努めています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今までの人間関係を崩さぬよう家族と温泉旅行に出掛けたり、面会や手紙のやり取りの継続。御家族様と自宅に戻り一緒に過ごす時間を定期的に持ってもらえるよう支援している。		
31	利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個人的に外出するとき、居室で過ごす時間、夜勤時等なるべく個人の思いを聞き、職員全体で把握すると共に、孤立しないよう利用者同士の調整に努めている。		
32	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設に移られた場合も定期的に状況をみて関わりを持つようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人はどうしたいのか？それを阻害するものは何か？それに近づく為にはどうしたら良いか？本人家族を踏まえ検討しています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>事前調査時、入居説明、契約時等または入所後の面会時等に随時情報集収を行っている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一人ひとりの生活歴、生活状況を把握、理解する事により全体像の把握に努めています。</p>	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃の状況や、かかわりの中で本人御家族様の思いを聞き、感じ、状況を踏まえて作成しています。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間前、状況、要望により随時検討、見直しを施行。新たな計画書の作成に取り組んでいる。</p>	



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人のファイルを作成し、健康管理、日常生活状況等記載し、状況の変化等情報が共有出来るよう努めている。記録を基にケース検討しています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)			
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	公民館の活動に参加させていただいたり、慰問させていただいたり、消防訓練で消防署の協力を得ています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域公民館活動に参加させていただいたり、本人や御家族様の希望に応じ訪問理美容サービスを利用させていただいております。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性に応じて地域包括支援センターと協働している。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関はあるが、基本的には今までかかっていた馴染みの医師、もしくは御家族様の希望する医師をかかりつけ医としており、御家族様が付き添えない場合受診結果を連絡している。このことは入居説明、契約時御家族様に了解を得ています。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>基本的には主治医、協力医療機関にまず相談。困難時は国立病院受診をしています。</p>		
45		<p>看護職員を配置しており状態の観察、健康管理をしており、また、原則看護職員が受診に付き添い、主治医と連携が図れるよう努めています。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時はサマリーを入院機関に提供。御家族様と連絡を取り合い、状態が安定しだい早期退院出来るよう支援しています。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期、重度化の対応はまだ経験しておりませんが、重度化した場合における対応にかかる指針を定め、御家族様へ説明しています。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>日頃から主治医と連携を取り、重度、終末期を迎えた際は本人家族様の意向を大切に、安心して過ごせるよう取り組んでいます。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	他施設へ移動する際には情報提供をし、その後何度か訪問し状況確認を行い連携に努めています。	
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	入職時に個人情報の取り扱い、守秘義務については説明し、契約書を書いていただいています。日々のケアの中では勤務者同士が注意、声掛けし合い、自尊心や誇りを傷つけないよう取り組んでいます。	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	利用者様の自己決定能力に応じ声掛け、選択肢を提示してなるべく自己決定できるよう支援しています。	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	大まかな一日の流れが定着しているが、一人ひとりの生活リズムや希望、体調等考慮し、柔軟に対応できるようにしている。	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	起床時や入浴等の更衣の際はなるべく本人の好みで決めていただき、不十分な部分をお手伝いさせていただきます。理美容時も本人様の希望を取り入れていただけるようお願いしております。	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>契約農家から新鮮な旬の野菜を提供していただき、食事に取り入れております。入居者様の希望や体調等考慮しながら、野菜の下ごしらえ、食器洗い等職員と行ったいただいております。マンツーマンで食事の見守り等しなくてはいけない入居者様があり、職員と一緒に食事を楽しむことは現在出来ておりません。</p>		<p>職員の休憩時間等を変更するなどして一緒に食事を楽しめるよう検討してゆきたいと思っております。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>今までの生活の中で日常的に楽しんでいた嗜好品を他者の迷惑とならぬように継続できるよう支援しています。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄チェック表を使用し排泄パターンを把握、失敗してもなるべくおむつは使用せず、声掛け、誘導にてトイレでの排泄を促しています。御家族様にもトイレでの排泄の大切さを説明、情報をいただいたり、汚染を考え下着や衣類の準備で協力していただき、状況を報告しております。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日を決めているが、決められた日以外にも希望にて入浴を施行しています。羞恥心やその日の状態や疾患等考慮しながら入浴を進めております。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの生活パターンを崩さず、なおかつ日中に活動の時間を設け、夜間ゆっくり休息が取れるよう支援しております。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>食事の準備、後片付け、洗濯、花壇の花の整備等本人の希望等に応じ役割を持っていただくと共に残存機能の維持に努めています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している(認知症対応型共同生活介護)	本人、御家族様の希望、状態により使用時自分の財布から支払いをしていただき、安心感、満足感、社会性の維持に努めています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	入居者様の希望や季節に応じいちご狩りや釣堀り等季節を感じてもらおう外出をはじめ、散歩や希望により受診帰りに買い物を楽しんだりしています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している(認知症対応型共同生活介護)	一人一人の御家族様に相談、状況により家族様の協力を得ながら進めております。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	電話の子機を使用し居室で会話していただき内容が漏れないよう、気兼ねなく会話をしていただいております。手紙も積極的に支援し、今までの関係の継続を支援しております。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している(認知症対応型共同生活介護)	面会時間を一応定めているが柔軟に対応。面会も居室や談話室等希望する空間でゆっくり過ごしていただけるようしております。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に対する理解と共通認識を持ち、拘束しなくても安全にケアが出来るよう状況を把握、その都度検討しております。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>入居者様のその日の状況や傾向を把握し、日中は鍵を掛けず、安全に配慮して、自由な暮らしを支援するよう努めています。</p>		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>フロアと事務所、調理場がオープンスペースとなっており、作業をしながらも常に入居者様の状況が把握出来るよう努めている。居室で過ごす入居者様を含め日中、夜間共に1時間に1回以上必ず所在の確認を行い安全に配慮しています。</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>危険なものを全て取り除くのではなく、入居者様の生活習慣や意欲を損なうことの無いよう状態の応じて裁縫道具やポット等御家族様の意向も踏まえ管理、使用していただいています。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>入居者様の現在の状況より予測されるリスクを検討し、職員間で共有、事故を未然に防げるよう工夫している。事故発生時は報告書を作成し、原因、今後の対策について検討、御家族様に報告しています。</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>研修会に参加し、蘇生術等を学ぶ機会を設けている。また、施設内の勉強会も実施し、対応できるようにしています。</p>		
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回入居者様と共に避難訓練、消防署の協力を得て介護老人保健施設と共に消火器の使用方法等の訓練を実施しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>面会時に御家族様に現在の状況を報告。状態の変化により起こりえる、予測されるリスクを話し合い、それに対する御家族様の意向等を伺うように努めています。</p>	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>日頃の入居者様の状況を把握しており、状況の変化は随時管理者、看護婦に報告。状況に応じて主治医に連絡、相談しております。また、記録に残し、申し送りを行い、情報の共有に努めております。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>お薬手帳や、処方箋のコピーを個人のケースファイルに整理し、内容の把握に努めている。また、随時主治医に状況を報告。薬は原則手渡し、服薬確認を必ず行っています。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>食事の工夫や、毎日決められた時間に適度な身体運動を行い、なるべく自然排便が出来るよう取り組んでいます。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>口腔ケアの声掛けを行い、能力に応じて見守り、介助を行っている。状況や御家族様の意向に応じ夜間洗浄剤による義歯洗浄を行っています。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取状況をチェック表、個人のケースに記録、把握。また、定期受診の際に主治医に報告しております。一人一人の嗜好品に配慮し、献立に採り入れたり、食事形態の工夫によりなるべく摂取していただけるよう工夫しております。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、職員で勉強会を行い、予防対策に努めている。御家族様に同意をいただき、職員共にインフルエンザの予防接種を全員受けています。		
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理場、調理用具等の清潔、衛生管理、冷蔵庫の点検清掃等取り決めに沿って実施。冷蔵庫、食材の残りを確認してこまめに買い物に出かけている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲を一般家庭のようにして飾り物も季節に応じた物を飾るなど工夫している。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所はカウンター式になっており、調理等の生活音、匂いがあり、また、季節に応じた旬の新鮮な野菜を使用した料理やゆず湯等季節感を感じていただけるよう工夫しております。また談話室、各居室からは周囲の緑が見え穏やかに過ごせる空間となっております。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関先に長いす、廊下踊り場にテーブルやイスを設置、仲の良い入居者様同士でゆっくり過ごせる空間の工夫をしております。		



	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>契約説明の際新品ではなく今まで使用していた馴染みの物を入れていただくよう説明して入れている。その他本人様の趣味を生かした絵画や御家族様の写真等入居者様に応じた居心地の良い空間作りの工夫をしています。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>24時間換気システムを整備しており、また、それ以外に一定時間毎に換気しており、空気のだよみや不快な匂いの無いようしています。入居者様の状況を見ながら温度調整も随時行っています。</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>浴室、廊下、トイレ等の手すりの設置や高さの工夫、入居者様の状態に応じたイスの工夫、残存機能を生かせるベット柵の工夫を行い、自立への配慮を行っている。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>浴室前に湯ののれんを設置し、一目で分かる工夫や状況に応じ環境整備に努めている。</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>玄関先に花壇を設置し、季節の花を植え、活動、鑑賞できる環境づくりをしている。また庭先の空間を広く設け、日光浴や散歩が出来るような工夫をしている。各居室にテラスを設置し、能力や希望に応じ洗濯干しを行っている。</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと )	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> ほとんど掴んでいない	その他( )
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="checkbox"/> 毎日ある <input type="checkbox"/> 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> たまにある <input type="checkbox"/> ほとんどない	その他( )
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他( )
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他( )
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他( )
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他( )
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他( )
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> ほとんどできていない	その他( )
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/> ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 数日に1回程度 <input checked="" type="checkbox"/> たまに <input type="checkbox"/> ほとんどない	その他( )

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該当する箇所を 印で囲むこと )	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/> 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> あまり増えていない <input type="checkbox"/> 全くいない	その他 ( )
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての職員が <input checked="" type="checkbox"/> 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他 ( )
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない	その他 ( )
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどできていない	その他 ( )

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)